

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成14年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	04 都市交通施設
事務事業名		01	都市交通施設事業
根拠法令・例規等		都市再生特別措置法	
担当課(室)		都市整備課	
職・氏名		都市建築係長 植田明彦	
電話		0869-64-1834	
このシート作成に要した時間		1.5 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	都市交通施設を利用する人
目的(何のために)	安全で快適な都市活動と活力ある健全なまちづくりを促進するため、街路の速やかな整備、充実を積極的に推進するため
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	協働のまちづくりを基本として市民によるまちづくりを推進する

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	都市交通施設総括事務	街路の一体的な計画、整備を推進するための総括事務	
	都計法53条申請審査事務	都市計画施設等の建築の制限がある区域内で、建築物を建築する際の許可申請の受理、審査、許可、指導事務	
	県街路事業促進協議会負担金	街路の整備、充実を推進する岡山県街路事業促進協議会への負担金	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		920	853	849
	必要人員(人件費)	千円	0.38人 3,167	0.39人 3,713	0.15人 1,464
	事業費計		4,087	4,566	2,313
	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金	千円			
その他()					
一般財源			4,087	4,566	2,313
受益者負担比率	%		-	-	-
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	説明		まちづくり協議会の年間開催数		
	結果指標量	回	6	3	4
	対前年比	%	-	50.0%	133.3%
	活動コスト	円	4,087,000	4,566,000	2,313,000
単位当たりコスト		681,167	1,522,000	578,250	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
まちづくり協議会開催回数	目標値(A)	4	4	3	2
	実績値(B)	6	3	4	到達目標値
	達成率(B/A)	150.00%	75.00%	133.33%	2
成果指標設定の考え方・式や説明					
まちづくり協議会開催回数/年4回					

事務事業の評価			
妥当性の評価 市民ニーズ	市の関与の妥当性の評価 <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> A	
	効率性の評価 コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> A
	有効性の評価 目的達成度 市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> A

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	20年度から道路事業を実施しており、引き続き、道づくりをまちづくりの基本として市民によるまちづくり協議会の運営を行う。					

総合評価	
道づくりをまちづくりの基本として、安全で快適な都市活動を推進するため、積極的に推進する必要がある。	評価区分 <A-E> A

平成23年度の方針性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	今後も道づくりをまちづくりの基本として、安全で快適な都市活動を推進するため、積極的に推進する必要がある。					

事業の目的、対象、内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項の目的やその数値目標を達成するための下書きを記載してください

